

(別紙様式)

【事業区分：経営力向上・高付加価値化】

花巻農業女子プロジェクト

「農花アグリヴィリーノ」

○グループの紹介

「農花アグリヴィリーノ」は、市内の農業に携わる女性が集まり平成28年に結成したグループです。

「やんべに」を合言葉に楽しく・無理しすぎないことを大切にしながら活動を行っています。

また、学習会や視察研修を行いながら仲間づくりとスキルアップを図るとともに活動PRのため、各地で開催される催事に出店しております。



○人数

18人（うち正会員16人、賛助会員2人）

○経営区分

農業17名・会社員1名

○事業目的

花巻市内で農業に従事する女性の相互交流・連携を促進し技術経営力の向上、農業で活躍する女性の姿を広く周知し、農業を職業として選択する若手の育成を図るとともに、行政や団体、企業等と連携し地域農業の振興に資することを目的とする。

○事業実施実績

実施内容 (具体的な内容・方法)	時期	場所	備考
① 視察研修	11月12日(火)	岩泉町 ① 岩泉ホールディングス ② 栗の和菓子処 中松屋	
② 定期ミーティング	毎月1回 (5月～R7.1月、 計8回)	花巻農協営農拠点センター (ミーティングルーム 他)	

○活動の成果

1. 視察研修の概要

- (1) 期日：令和6年11月12日（火曜）
- (2) 参加者：14名（会員11名、関係機関3名）
- (3) 目的：
生産者側と企業との連携によって得られる商品価値、地域を巻き込んだマーケティング、世代を超えて長く続く地域づくりについて学ぶ。

2. 実施状況

- (1) (株) 岩泉ホールディングス工場見学➡講話（6次産業化の取り組み）



【工場内見学】



【取組事例の紹介&講話】

- (2) 中松屋見学➡地域の方々との意見交換



【地域の方々との交流】



【積極的に意見交換】

3. 学んだこと、これから活かしたいこと

- 地元ゆえ気付かない事もあるが、UターンやIターン、異業種の方々から見ると「普通」なものが実は「価値」があったりする。生産者もそうした意見や手助けを受け入れ、小さな気付きを得ることが地域の資源を使った活性化に繋がることが分かった。
- (6次産業化で起業している会員) 改めてお客様の聞き取りをした。その結果、これまで新しい惣菜などを開発していかなければならないと思っていたが、逆に昔ながらの定番のおかずにもニーズがあり、続けて欲しいとの声が多かったことから商品のラインナップと価格の見直しを行った。
- 今までマーケティングは難しく面倒だと思っていたが、ペルソナなど具体的なター

ゲットを絞った商品を考える事の重要性が分かった。

○次年度に向けて

- ・これまで催事に出店するなど個々の農産物、加工品の販売を中心に行ってきたが、生産者目線での農業の魅力・農を通じて出来ることの楽しさを発信するために【農育普及活動】と省して自分達で出来るイベントを企画したり、研修会・講習会・ワークショップなどを開催していきたいと考えている。